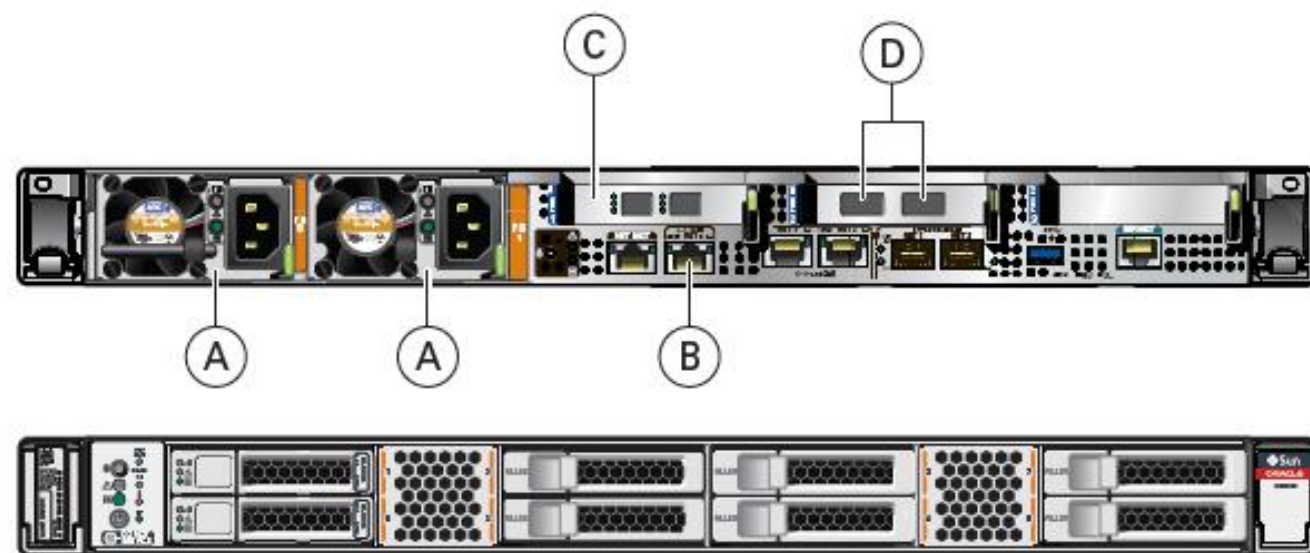


Oracle Private Cloud Appliance拡張ノードのセットアップ (パート1)



サーバーの配線要件

- A 電源装置
- B NET0 Ethernetポート
- C (オプション) ファイバ・チャネルHBA
- D 内部アプライアンス・ネットワーク・コネクタ

注意: アプライアンスの物理ネットワーク・アーキテクチャに応じて、項目Dのコネクタは、IniniBandポートまたはEthernetポートのいずれかです。アーキテクチャ・タイプごとに特定のサーバー・モデルを使用できます。

作業を進める前に、ネットワーク・コネクタがアプライアンス内の配線に対応していることを確認してください。

注意: ケーブルはアップグレード・キットに含まれません。

全ラック・ユニットの標準ケーブルはすべて、アプライアンス・ラックに事前に取り付けられており、サーバーの配線要件に従ってラベルが付けられています。

1 設置要件を確認する

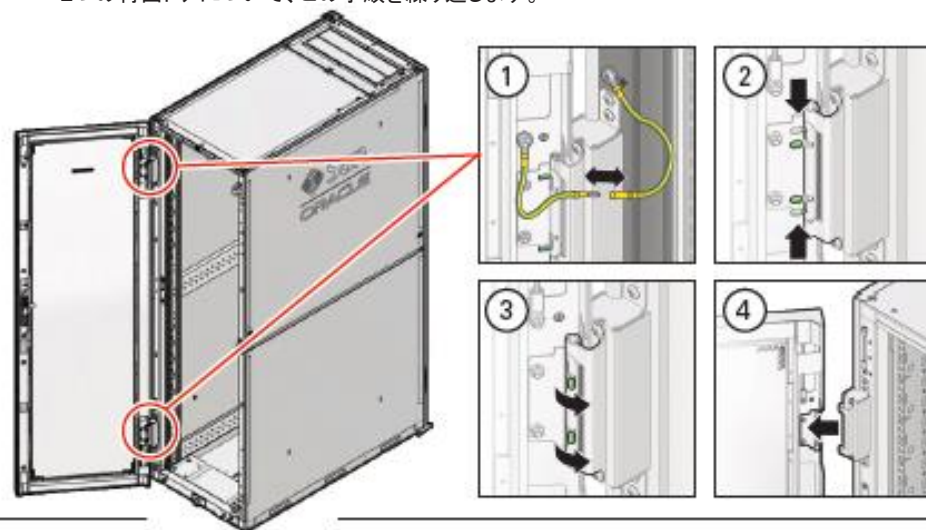
- A 安全ガイドラインおよび設置場所のチェックリストを確認します。『Oracle Private Cloud Applianceインストール・ガイド』の安全ガイドラインの確認に関する項を参照してください。
- B サーバーのラックマウント作業時の安全対策を確認して従います。『Oracle Private Cloud Applianceインストール・ガイド』のラックマウント作業時の安全対策に関する項を参照してください。

2 拡張ノード・アップグレード・キットを開梱する

- A 梱包を解きます。
- B 内容がすべて揃っていることを確認します。
 - ラックマウント・キット(ラックレール、取付けブラケット、ネジおよびラックマウント・テンプレートが同梱)
 - ケーブル管理アーム(CMA)組立部品(取付け手順書付き)
 - スタート・ガイド
 - 法的文書および安全文書

3 Private Cloud Applianceラックを準備する

- A 前面および背面のラック・ドアを取り外します。
 - 前面ドアと背面ドアのロックを解除して開きます。
 - パナナ・ジャックを外して、上部と下部の接地ストラップを切り離します(1)。
 - 下部のヒンジを外してから、上部のヒンジを外します。
 - ヒンジの2つのスタッドをヒンジの中心に向かってつまみます(2)。
 - スタッドをドアとは反対側に回転させて(3)、スタッドが定位置で留まり、ヒンジが外れた状態のままになるようにします。
 - キャビネットからドアを取り外します(4)。
 - 2つの背面ドアについて、この手順を繰り返します。
- B 拡張ノードを取り付けるフィラー・パネルを取り外します。フィラー・パネルの裏にあるスタッドはレールの穴から引き出します。取り外すのにドライバは必要ありません。
- C 事前に取り付けられたケーブルを定位置に収納している、ラック背面のケーブル・トレイを取り外します。
 - 新しい拡張ノード用のラック・ユニットのケーブル・トレイから事前に取り付けられたケーブルを取り外します。
 - プラス・ドライバ(Phillipsの2番)を使用して、ケーブル・トレイからM6ネジを外します。
 - ラックからケーブル・トレイを取り外します。将来使用できるように、ケーブル・トレイとネジを保管しておきます。



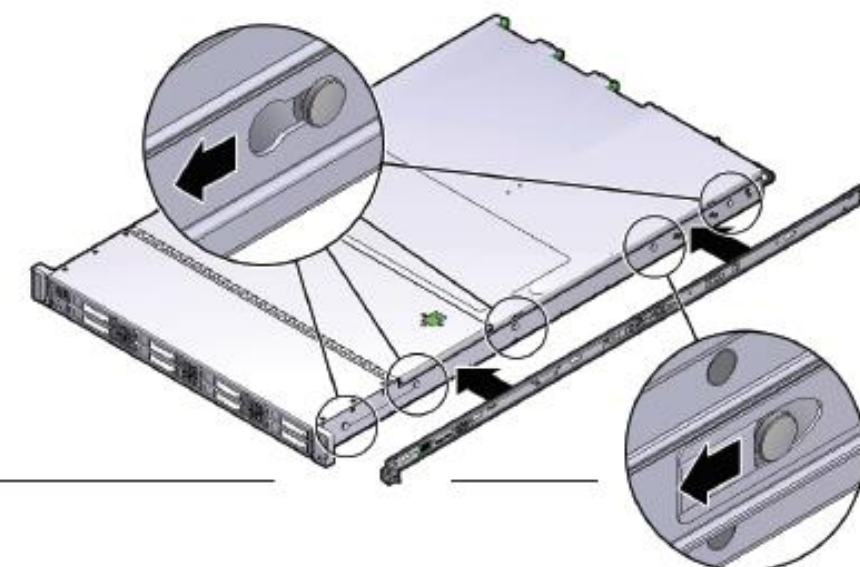
注意: ドアは重いです。1人がドアを定位置で支えながら、もう1人がヒンジのラッチ・メカニズムを操作してください。

ヒンジへの損傷を避けるために、手順を注意深く正しい順序で実行してください。

注意: コンピュータ・ラック・ユニットの装着は、必ず一番下の最も空いているスロットから始めて、上に向かって作業してください。

4 取付けブラケットをサーバーに取り付ける

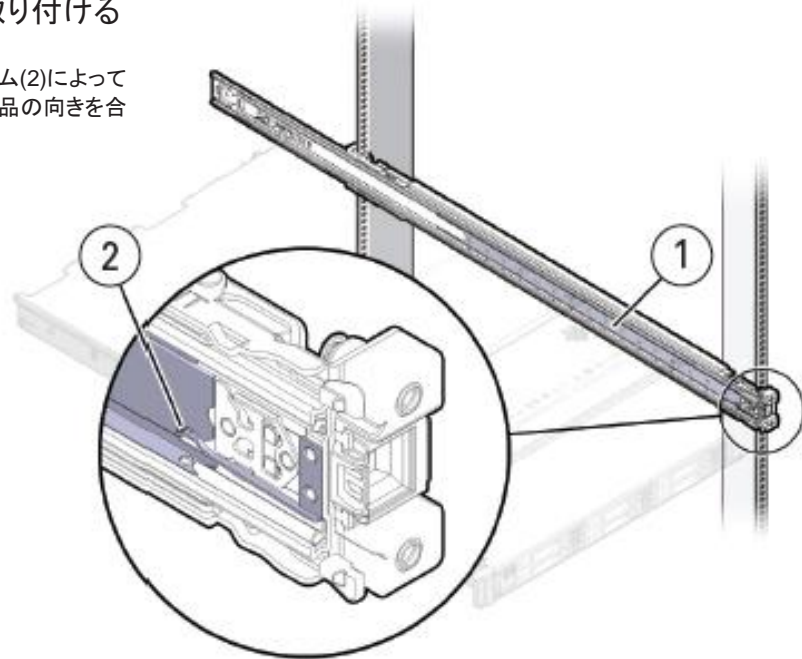
- A スライドレール・ロックが前面に来るようにブラケットをサーバーに対して置き、サーバーの位置決めピンに5つの鍵穴の開口部を合せ、サーバーに取付けブラケットを取り付けます。
- B 位置決めピンが鍵穴の開口部から突き出ている状態で、カチッと音がしてクリップが定位置に固定されるまで、ブラケットをシャーシの前面に向かって引き込みます。
- C 背面の位置決めピンが取付けブラケットのクリップとかみ合っていることを確認します。
- D この手順を繰り返して、残りの取付けブラケットをサーバーの反対側に取り付けます。



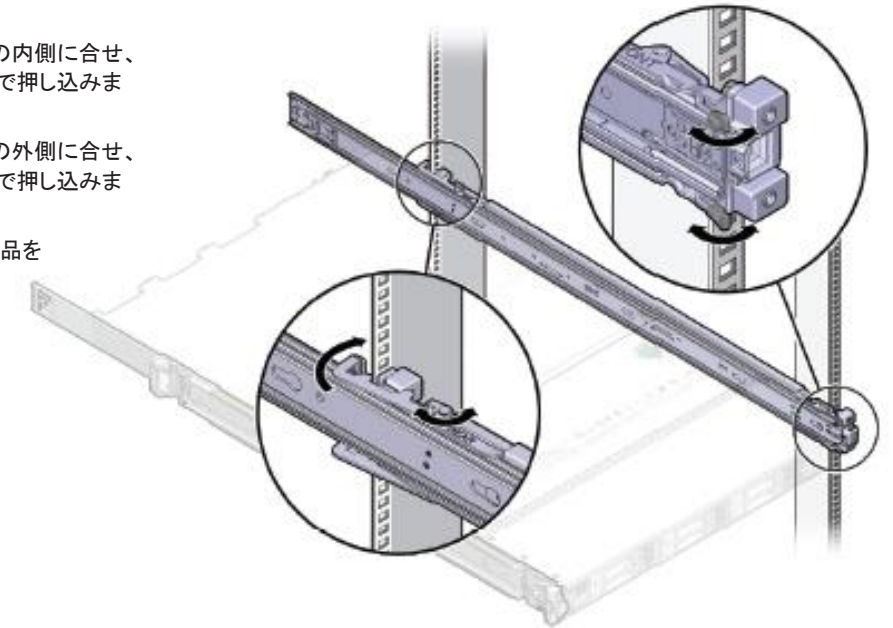
Oracle Private Cloud Appliance 拡張ノードのセットアップ (パート1)

5 スライドレール組立部品をラックに取り付ける

A 玉軸受けトラック(1)が前方にあり、ロック・メカニズム(2)によって定位置に固定されるように、スライドレール組立部品の向きを合せてください。

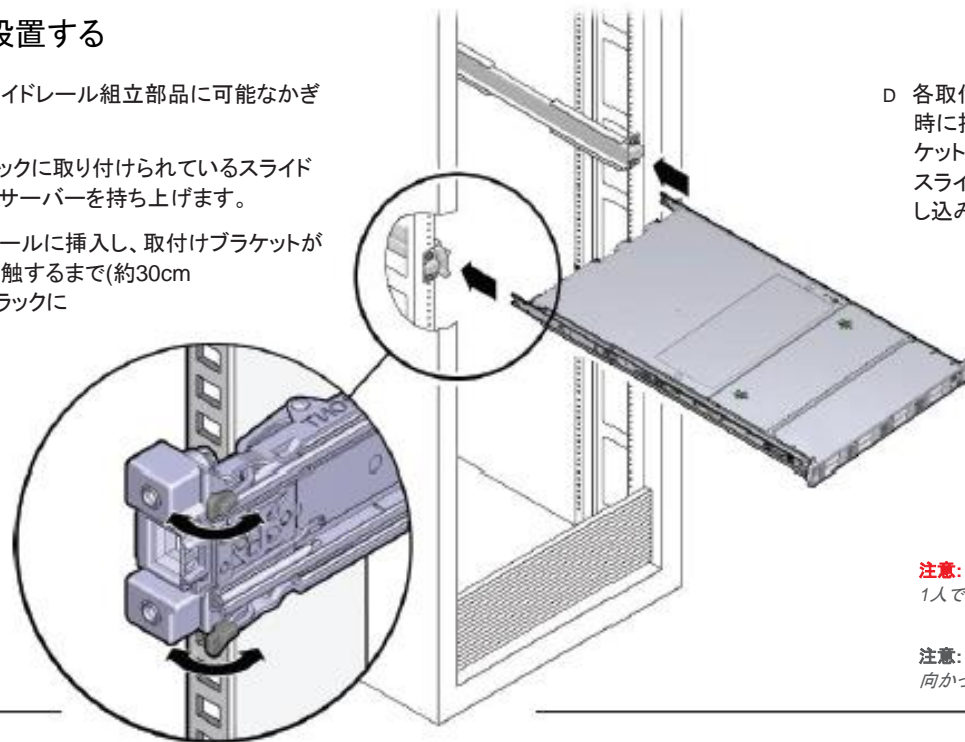


- B スライドレール組立部品の背面を背面ラックレールの内側に合せ、カチッと音がして組立部品が定位置に固定されるまで押し込みます。
- C スライドレール組立部品の前面を前面ラックレールの外側に合せ、カチッと音がして組立部品が定位置に固定されるまで押し込みます。
- D この手順を繰り返して、残りのスライドレール組立部品をラックの反対側に取り付けます。



6 サーバーをラックに設置する

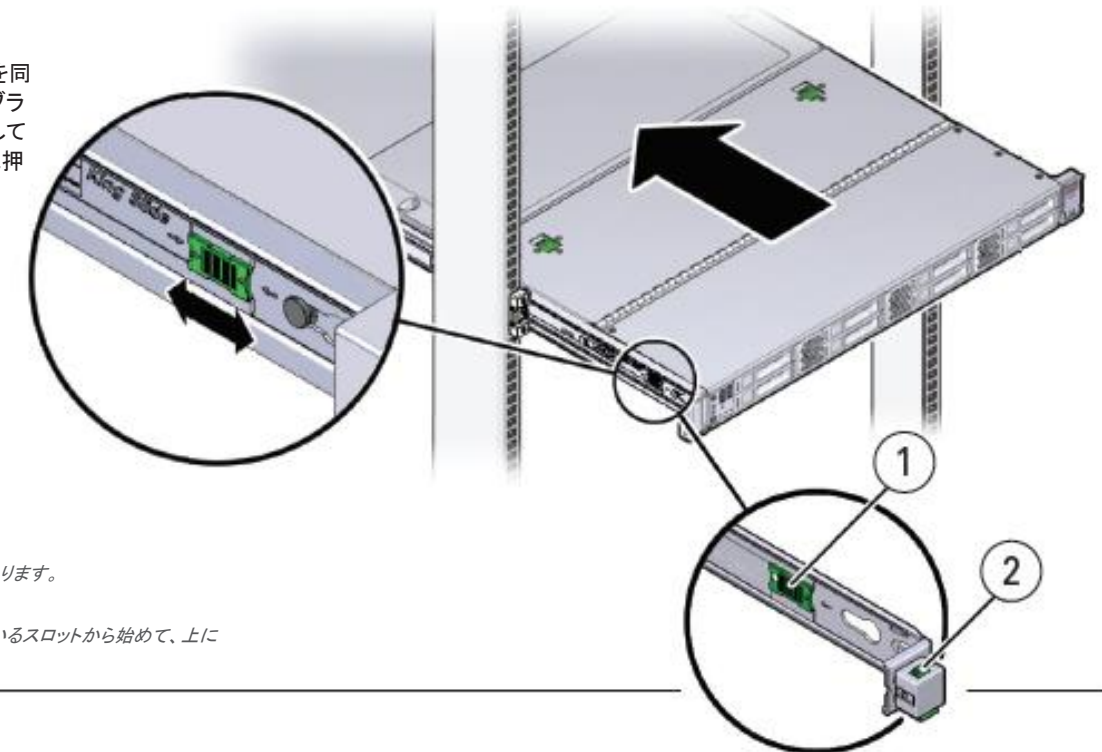
- A スライドレールをラックのスライドレール組立部品に可能なかぎり押し込みます。
- B 取付けブラケットの後端がラックに取り付けられているスライドレール組立部品と合うようにサーバーを持ち上げます。
- C 取付けブラケットをスライドレールに挿入し、取付けブラケットがスライドレールの留め具に接触するまで(約30cmまたは12インチ)サーバーをラックに押し込みます。



D 各取付けブラケットの緑色のスライドレール取外しボタン(1)を同時に押したまま、サーバーをラックに押し込みます。取付けブラケットの前面にあるスライドレール・ロック(2)がカチッと音がしてスライドレール組立部品とかみ合うまで、サーバーをラックに押し込み続けます。

注意: サーバーの重量のため、この手順には最低2人は必要です。1人でこの手順を試みると、機器損傷や人身事故につながる可能性があります。

注意: コンピュータ・ラック・ユニットの装着は、必ず一番下の最も空いているスロットから始めて、上に向かって作業してください。

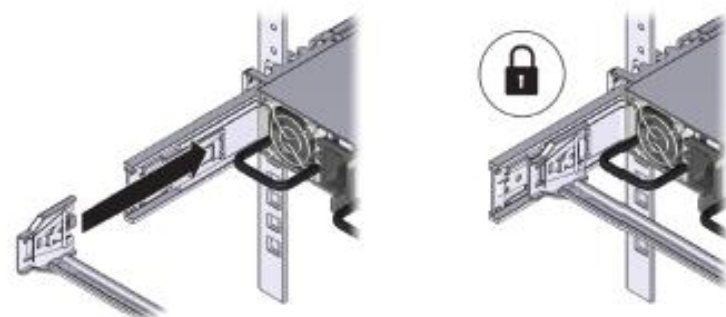


Oracle Private Cloud Appliance 拡張ノードのセットアップ (パート2)

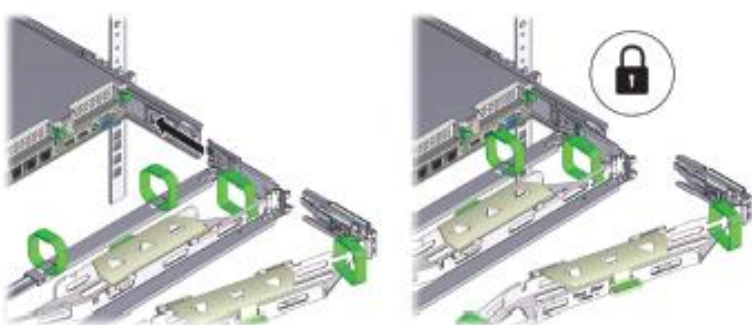
7 ケーブル管理アーム(CMA)を取り付ける

A 取り付けやすくするために、サーバーをラックの前面から約13cm (5インチ) 引き出します。ラックの背面からCMAを取り付けます。

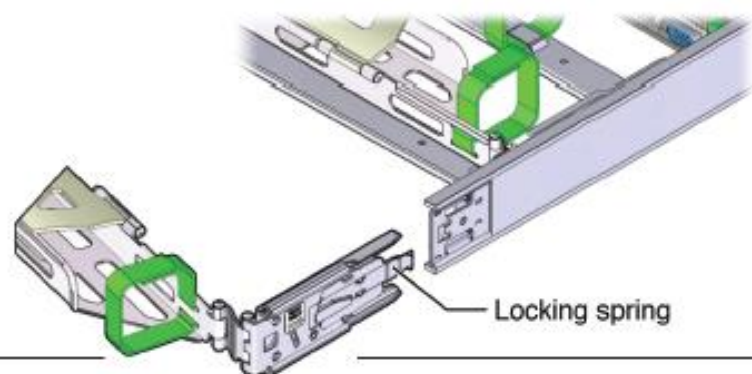
B CMAのコネクタAを、カチッと音がして定位置に固定されるまで、左側のスライドレールの前面スロットに差し込みます。



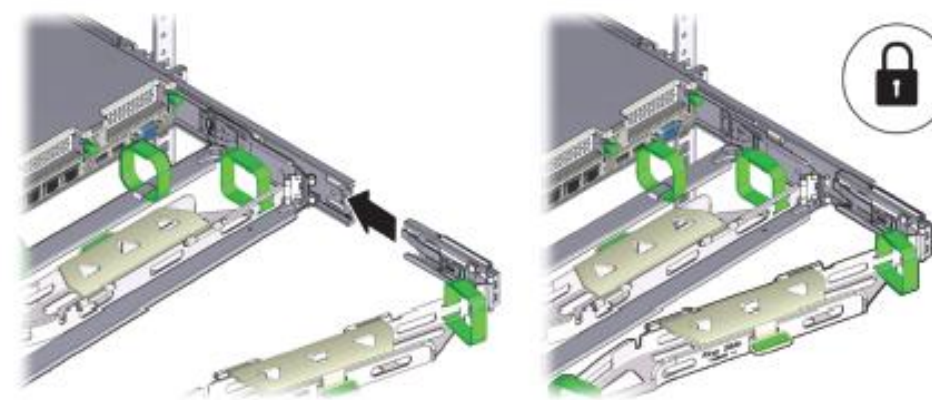
C CMAのコネクタBを、カチッと音がして定位置に固定されるまで、左側のスライドレールの前面スロットに差し込みます。



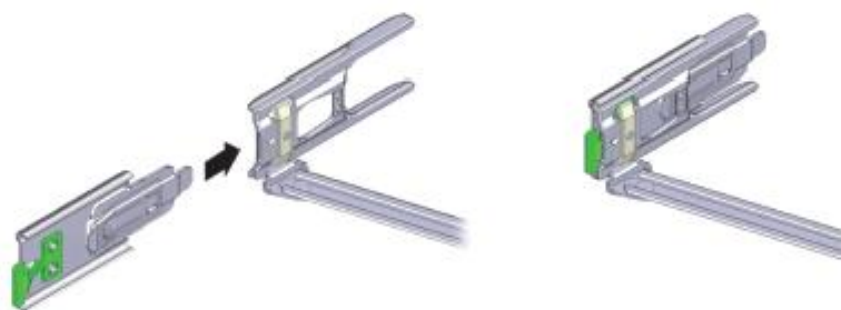
D 固定スプリングが右側のスライドレールの内側(サーバー側)にくるように、コネクタCをスライドレールに合せます。



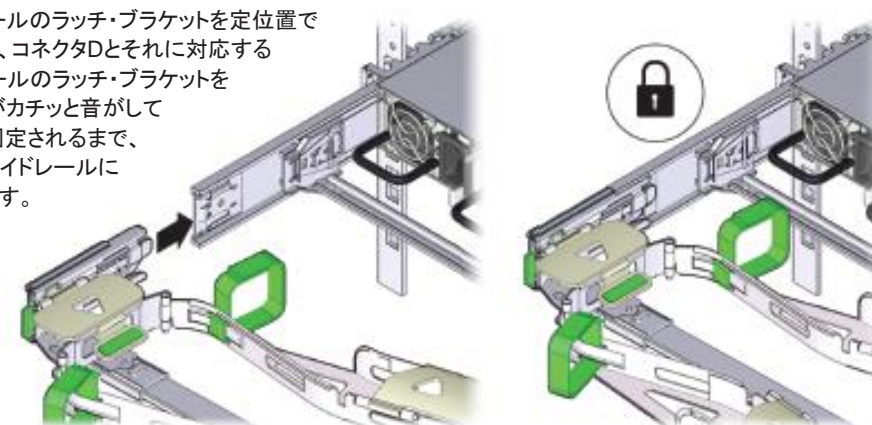
E コネクタCを、カチッと音がして定位置に固定されるまで、右側のスライドレールに差し込みます。



F スライドレールのラッチ・ブラケットをコネクタDに固定しているテープをはがし、ラッチ・ブラケットがコネクタDと正しく合っていることを確認します。



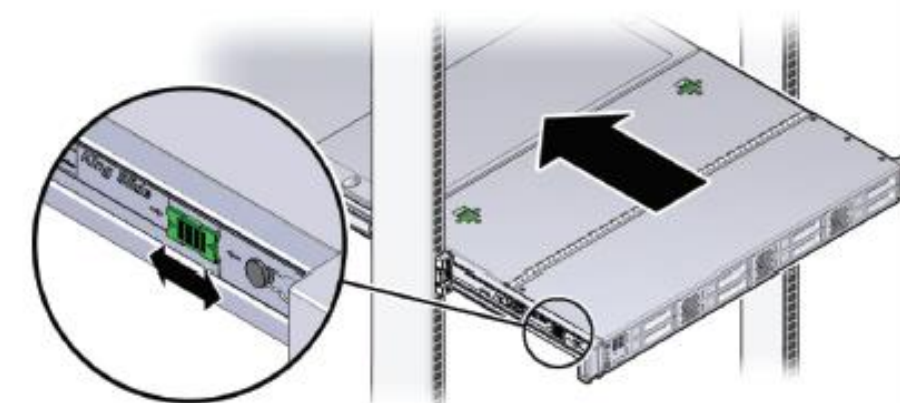
G スライドレールのラッチ・ブラケットを定位置で支えながら、コネクタDとそれに対応するスライドレールのラッチ・ブラケットをコネクタDがカチッと音がして定位置に固定されるまで、左側のスライドレールに差し込みます。



H 4つのCMA接続ポイントを静かに力を入れて引っ張り、CMAコネクタがしっかり固定されていることを確認してから、CMAが自重で垂れ下がるようにします。

I CMAにケーブルを通す前に、スライドレールとCMAが正常に動作していることを確認します。

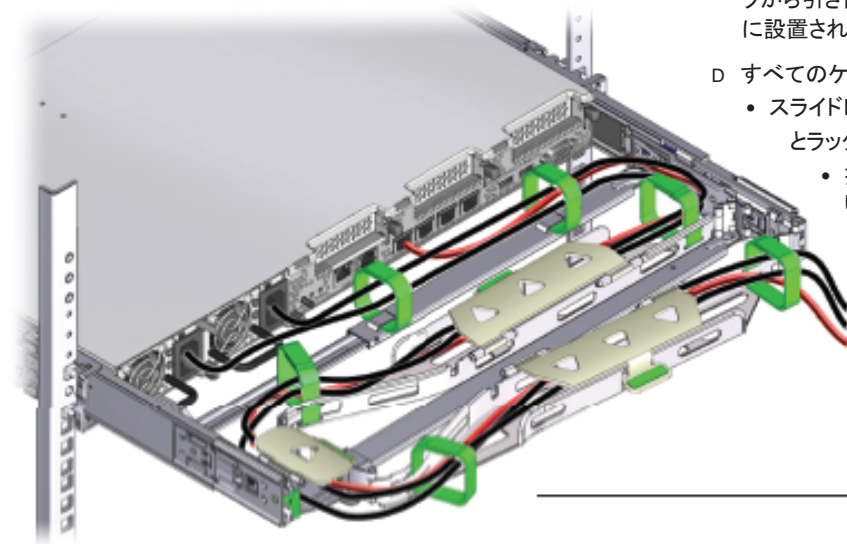
- CMAがいっぱい伸びるまで、サーバーをラックの前面から引き出します。
- 2つの緑色の取外し用ツメ(サーバーの各側面に1つずつ)を同時にサーバーの前面に向かって引っ張りながら、サーバーをラックに押し込みます。サーバーをラックに押し込むときに、CMAが引っ掛からずに元に戻ることを確認します。
- サーバーの前面にあるスライドレール・ロックがカチッと音がしてスライドレール組立部品とかみ合うまで、サーバーをラックに押し込み続けます。



Oracle Private Cloud Appliance拡張ノードのセットアップ (パート2)

8 サーバーにケーブルを接続する

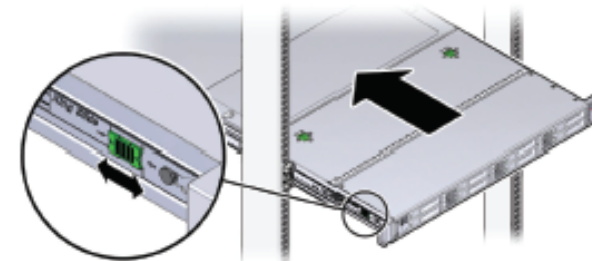
A 1ページの「サーバーの配線要件」に示されているように、該当するラック・ユニットの事前に取り付けられた電源ケーブルとデータケーブルを拡張ノードの背面に接続します。データケーブルの接続から始めます。次に、電源ケーブルを接続します。そうすることで、コントローラソフトウェアは新しいコンピュータノードを検出し、プロビジョニングプロセスを開始できます。



- B CMAケーブル・カバーを開き、CMAのケーブル・トラフにサーバーケーブルを通し、ケーブル・カバーを閉じて6つのベルクロ・ストラップでケーブルを固定します。最前面のケーブル・トラフから始め、次に小さいケーブル・トラフに通し、最後に最背面のケーブル・トラフに通します。
- C 固定されたケーブルが、接続されているサーバーの上部の上や底部の下に延びてこないようにします。そうしないと、サーバーをラックから引き出したり、ラックに戻したりするときに、ケーブルがラックに設置された他の機器に引っかかる可能性があります。
- D すべてのケーブルが取り付けられたCMAの動作を確認します。
- スライドレールが留め具に接触するまで、サーバーをゆっくりとラックから引き出します。
 - 接続されているケーブルが引っ掛かったりよじれていないか点検します。
 - CMAがスライドレールからいっぱいまで伸びることを確認します。

9 サーバーをラックに戻す

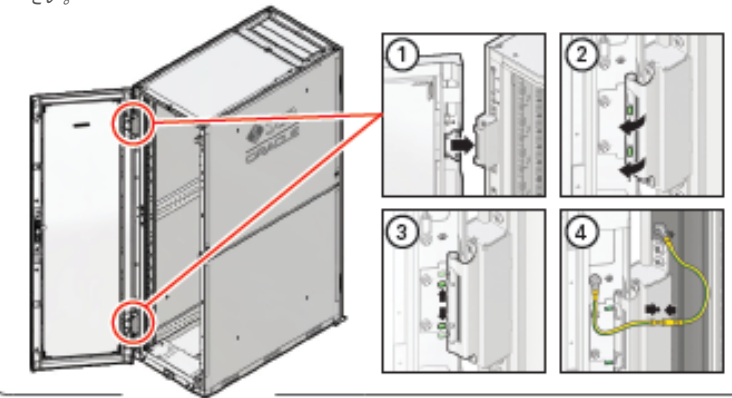
- A 2つの緑色の取外し用ツメ(サーバーの各側面に1つずつ)を同時にサーバーの前面に向かって引っ張りながら、サーバーをラックに押し込みます。
- B サーバーをラックに押し込むときに、CMAが引っ掛からずに元に戻ることを確認します。



10 ラックのドアを元に戻す

- A ドアを定位置に持ち上げ、ドアのピンをキャビネットのスリーブに合せませす(1)。
- B 上部のヒンジの2つのスタッドをヒンジの中心から外側に向かって回転させます(2)。ピンが定位置にはめ込まれます(3)。
- C この手順を繰り返して、もう一方のラック・ドアを取り付け直します。
- D 全ドアの接地ストラップ(4)をすべて再接続します。
- E ドアを閉じます。必要に応じて、ドアをロックします。

注意: ドアは重いです。1人がドアを所定の位置で保持し、もう1人がヒンジ・ラッチ機構を操作してください。ヒンジへの損傷を避けるために、手順を注意深く正しい順序で実行してください。



11 自動プロビジョニング

アプライアンス・ダッシュボードにより、1つ以上の新しいコンピュータノードがラックに存在することが検出されます。新しいハードウェアの電源が自動的に投入され、プロビジョニング手順が実行されます。

拡張コンピュータノードがアクティブなシステムにシームレスに組み込まれます。管理者がこれ以上介入する必要はありません。

12 今後について

その他のリソース

システムの安全な使用、保守、更新、拡張に関する詳細な手順および情報は、オンラインの製品ドキュメント・ライブラリを参照してください。

Oracle Help Center

最新の製品情報、ダウンロードおよびドキュメントについては、Oracle Private Cloud Applianceの製品ページにアクセスしてください。URL: <http://www.oracle.com/technetwork/server-storage/private-cloud-appliance/>を入力するか、QRコードをスキャンします。

Oracleサポートへのアクセス

Oracleカスタマは、My Oracle Supportから電子サポートにアクセスできます。詳細は、<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info> または <http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs> (聴覚障害者向け)を参照してください。

注意: 登録済のハードウェアSIとソフトウェアSIがないと、オラクル社からソフトウェアを入手したり、サポートを受けることができません。



スキャンして製品概要にアクセスしてください